

表1 4群による問題性の順位（上から重視された順位を示す）

| グループ | 親 | | | 教師 | | 教育学者 心理学者 | 精神衛生専門家 | |
|------|------------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|--|---------------------------------|
| 対象群 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 研究者 | マクリ ナサン | マクリ ナサン | ストグ ディル | ウィッ クマン | マクリ ナサン | マーテ ンス | ウィッ クマン | ストグ ディル |
| 問題 | 盗み 責任感欠如 利己主義 非協調性 不公正 | 盗み うそ 利己主義 かんしゃく 強欲 | 盗み 自慰 うそ 欺まん あてにならない 不服従 | 異性問題 盗み 自慰 わい語 不正直 | 盗み かんしゃく 自慰 神経質 権威無視 | 異性問題 泣きむし 盗み かんしゃく 残忍 | 非社会性 疑心 不元気・抑うつ 怒りっぽい 恐怖 残忍 | 抑うつ 恐怖 残忍 うたが深い 神経質 |
| 行動 | しつと 自慰 思慮欠如 無作法 自信の欠乏 | 怒りっぽい 怠惰 権威無視 不公正 攻撃性 | わい語 火遊び 悪口 残忍 | 放浪 無作法 残欺 破壊行動 | 残忍 うそ 恐怖 わいせつ 無責任 | 放浪 うそ 破壊行動 弱いものいじめ わがまま | 気落ちしやすい 被暗示性 批判過度 過敏性 | 盗み うそ 引込み思案 あてにならない |

2. 権威的でなく、受容的なふれあいを

子供を理解する場合、徴候の表面的なものばかり追っていてよいものであろうか。東京都教育研究所西君子指導主事は、「教師が、かけがいのない子供の存在を尊重し、子供と同じ土俵の上に立つ積極的な努力を続ける時、子供は、自己に目を向け、成長への衝動を高め、自らの人格を再体制化していく。その過程で、主体的な問題解決や、個性能力の伸長がある」といっている。

たとえば、子供が廊下を走る、という教師にとって問題となる行動があった時、その子供にとって、廊下を走らなければならない何らかの理由があったのであろうと、その理由を、子供の立場に立って理解したいものである。

このためには、ただ単に、表面に現れてきた現象を分析し、原因を追求して、